

2017 函館・ハリファックス協会

クリスマスパーティー開催

2017.12.10

事務局 田原勝昭

年末恒例のクリスマスパーティーを函館駅前のフォーポイントバイシェラトン函館で開催。パーティーには当協会名誉会長の工藤寿樹市長が初めて出席、また、道教育大学函館校地域プロジェクト構成メンバーの学生など、会員、来賓合わせて 30 名が出席しました。

始めに、富田会長が挨拶に立ち、今年もハリファックス市からクリスマスファンタジーに巨大ツリーが贈られ、冬のイベントが行われている。また、今年には姉妹都市提携 35 周年、当協会創立 30 周年の節目を迎えたことから、函館市が関係団体一行とともに、協会から私を含め 4 名の会員が同行し、ハリファックス市を親善訪問、現地の友好協会トラッペン・バーグ会長夫妻や市民との交流を行ったことなどを話されました。

次に、来賓として出席した名誉会長の工藤寿樹市長が挨拶しました。

冒頭、協会創立 30 周年に祝意を表し、姉妹都市交流の大切さに触れるとともに、長年はこだてクリスマスファンタジーを彩る巨大モミの木が、現地から贈っていただいていることに対する返礼を兼ね、関係団体とともにハリファックス市を親善訪問、温かい歓迎に謝意を表した。

また、12 月 23 日、24 日の両日函館出身ロックグループ「グレー」による函館アリーナのコンサートや、はこだてクリスマスファンタジー 2017 についても述べ、函館観光事業の盛り上がり期待を寄せた。

続いて、ハリファックス函館友好協会トラッペン・バーグ会長から寄せられたクリスマスメッセージが紹介されました。

当協会学生会員の柿崎真里奈さんが、原文・和訳により紹介。(今般のハリファックス市親善訪問団との交流の様子。最近変貌著しいハリファックス市の街並みについてなど) (メッセージの詳細別掲)

祝杯は、及川雅夫副会長の「メリークリスマス」で杯を上げました。

祝宴に入って最初のステージイベントは、道教育大函館校アカペラ「ミリオン」による歌の披露がパーティーを和やかなムードに包み込みました。

次に、同大の地域プロジェクトチーム 7 名によるプレゼンテーションがあり、ハリファックス市との国際交流のあり方に一石を投じてくれました。中でも、アンケート結果から、人と人との交流、フェイスブックによる広報活動、そして中学生をハリファックスに派遣することによる将来の新たな交流を生み出す方策についての提案がありました。

これに答えて、工藤寿樹市長から函館市の姉妹都市交流についてコメントがありました。

スピーチは、道教育大函館校の「地域プロジェクト」担当の池田祥英先生。

同大学生末永智祐さんからは取り組んでいる活動内容の発表がありました。
続いて、函館市企画部国際・地域交流課中村勇人課長より、7月に訪問したハリファックス市での交流内容の感想とともに、日頃の函館市に対する支援・協力に感謝の辞がありました。

当協会に新加入したロディー・マクドナルド氏は、協会に加入したきっかけなどをユーモアあふれるスピーチで会場を沸かせました。

この後、ハリファックス市親善訪問に参加した会員の北外優子さん、柿崎真里奈さんからは、現地での交流の感想とともに、その成果を今後の姉妹都市交流に生かしたいと力強く述べられました。

乾杯は、山崎文雄顧問の発声で行われ、おひらきとなりました。

閉会后恒例の記念写真撮影に臨み、散会しました。

※出席会員に「メープルシロップ」、学生には「クリファン」スープチケット」をそれぞれプレゼントされました。

2017 はこだてクリスマスファンタジー「カナダ・ハリファックス展」

2017.12.1(金)～12.25(月)

会場／金森洋物館特設会場
(事務局)

函館ベイエリアの冬を彩る「はこだてクリスマスファンタジー」が今年で20回目の節目を迎え、金森赤レンガ倉庫前で開催されました。

函館市の姉妹都市・ハリファックス市から高さ20メートルの「幸せのモミの木」贈られ、沢山の電飾が取り付けられた巨大クリスマスツリーは、訪れた市民や観光客を魅了しました。

一方、このファンタジーに協賛して「カナダ・ハリファックス展」を金森洋物館特設会場内にて開催、ファンタジーを盛り上げた「巨大メインツリーの贈り主」ハリファックス市を来場者に紹介しました。

今回の展示写真は、姉妹都市ハリファックス市との交流の歴史とハリファックス最新の街並みを、計18枚の写真パネルを展示、展示会場内にカナダ・ハリファックスの雰囲気を感じ出しました。